

機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器 真空密封型採血管 35414000

ネオチューブ® A

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 本品を使用して採血した血液を人体に戻さないこと。〔採取した血液の安全性が確保できていないため。〕
- 3) 本品による採血は耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針及び単回使用採血ホルダとの組み合わせ以外では行わないこと。
- 4) 採血管が室内温度に戻らないうちに採血を行わないこと。
〔採血管の温度により採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- 5) 採血管を抜くまで、被採血者の腕の血管の圧迫を解除したり、動かしたりしないこと。〔圧迫を解除した際、あるいは腕の配置によっては静脈血圧が急激に低下し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- 6) 採血管に血液が流入し始めた後は、採血ホルダに押し込むような力を採血管にかけないこと。〔採血管内の圧力が変化し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- 7) 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。〔駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕
- 8) ホルダは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。
〔ホルダに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがあるため。〕
- 9) 体外循環回路又は中心静脈から採血を行わないこと。〔圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。〕

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

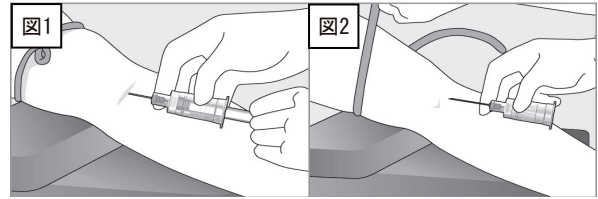
本品は各種臨床検査等に必要な血液等を採取する器具で、ポリエチレンテレフタレート共重合樹脂（PET）製試験管、ゴム栓からなる。管内に種々の薬剤や添加物を含む場合がある。
なお、本品はガンマ線滅菌済みである。

【使用目的又は効果】

血液検査のため、血液検体の採取、輸送又は保管に用いる。

【使用方法等】

1. 室内温度になった本品を準備します。
2. 採血針のキャップを外し、ホルダに確実に固定します。また、ホルダと一体型の採血針を用いる場合は嵌合にゆるみがないことを確認します。
3. 駆血帯をかけた後に、皮膚の消毒等を行います。
4. 採血針のコンテナをまっすぐ引いて外し、血管へ穿刺します。また、ルーアチップタイプを用いる場合は他の医療機器と確実に接続します。
5. 本品はホルダに真っ直ぐ完全に押し込みます。規定量の血液が採れるまでこの状態を保ちます（図1）。
6. 採血の血流が停止したら、直ちに本品をホルダから外します。
7. 取り外した本品を、直ちに5～6回程度、穏やかに転倒混和します。
8. 連続採血する場合は、ホルダを固定したまま本品を取り替えます。
9. 採血終了後、本品をホルダから抜去した後に駆血帯を外します（図2）。
10. 注意して採血針を抜去し、止血します。



*＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 転倒混和が不十分な場合、凝固促進剤入り品種では凝固不良が、抗凝固剤入り品種では血液凝固が発生するおそれがあります。
2. 転倒混和の際は、激しく振らないでください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 患者の腕及び採血管を採血中常に下向きにすること。
- 2) 翼付針チューブを使用して採血する際は、採血管の位置上下に動かさないこと。
- *3) 血清分離剤入りの採血管は、分離剤による隔壁形成後、極度の振動を与えることや、長時間の横倒しによる放置を避けること。
- *4) 血清分離剤入りの採血管は、隔壁形成後に再度遠心分離を行わないこと。〔検査値に影響を及ぼすおそれがある。〕
- 5) 遠心分離後の検体を凍結保存等する場合には、そのまま保存せず、血清や血漿を別容器に移し替えて保存すること。〔検査値に影響を及ぼすおそれがある。〕
- 6) ゴム栓を取り針付き注射筒より血液を移す場合には、誤穿刺に注意しながら注射針を取り去り、管壁に沿わせながらゆっくりと注入すること。
- 7) 変形したものは使用しないこと。
- 8) 使用期限内でも採血量が衰退するおそれがある。〔採血管内部へ大気中の気体分子（窒素、酸素等）が浸透し、減圧度が低下する現象によるが、使用期限内における採血量は規格内であり性能に問題はない。〕
- 9) 抗凝固剤EDTA-2Kを含む顆粒薬剤は、顆粒の一部が褐色に変色している場合があるが品質に影響はない。
- *10) 分離剤中に気泡が認められる場合があるが、検査値への影響はない。
- *11) 採血時の環境（血圧、温度、気圧等）により採血量が変動する場合がある。

2. 不具合・有害事象

- 1) その他の不具合
(1) 採血不良 (2) 凝固不良 (3) ゴム栓の外れ
(4) 試験管の割れ

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて室温で保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
滅菌後：1年又は1.5年（品種による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

ニプロ株式会社



ニプロ株式会社